

## 令和5年7月三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 令和5年7月27日（木） 午後3時00分～午後3時53分

○場 所 三浦市役所第2分館 教育委員室

### ○次 第

1 開 会

2 会議録の承認

3 署名委員の指名

廣 瀬 牧 実 委員、 石 渡 博 幸 委員

4 教育長報告

(1) 小中学校の夏休み期間について

(2) 須坂市との姉妹都市交流等の行事について

(3) 小学校教科用図書採択について

5 報告事項

(1) 令和5年6月の後援名義等使用について

(2) 令和5年度第2回三浦市議会定例会の状況について

(3) 令和4年度学校給食事業（令和4年度決算）について

(4) 三浦市学校教育ビジョンについて

6 その他

7 閉 会

○出席委員（5名）

|         |         |
|---------|---------|
| 教 育 長   | 及 川 圭 介 |
| 教育長職務代理 | 石 毛 浩 雄 |
| 委 員     | 石 崎 勇 吾 |
| 委 員     | 廣 瀬 牧 実 |
| 委 員     | 石 渡 博 幸 |

○説明のために出席した職員

|             |         |         |         |
|-------------|---------|---------|---------|
| 教 育 部 長     | 増 井 直 樹 | 教育総務課長  | 塚 本 孝 治 |
| 学 校 教 育 課 長 | 増 田 格 人 | 青少年教育課長 | 平 松 恭 輔 |
| 学 校 給 食 課 長 | 武 田 健 二 |         |         |

○事務局出席者

|               |         |         |           |
|---------------|---------|---------|-----------|
| 教育総務課グループリーダー | 浦 西 伸 一 | 教育総務課主事 | 吉 田 か お り |
|---------------|---------|---------|-----------|

○傍 聴（0名）

○及川教育長 それでは皆さんこんにちは。

ただいまより令和5年7月三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回の会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでに皆さまのお手元に送付してございますけれども、本案修正等に関する皆さまの御意見をいただいた上で、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて承認をいただきたいと思っております。

それでは、修正等につきまして御意見ございましたら、お願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(発言等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。

前回会議録につきまして、令和5年6月三浦市教育委員会定例会会議録のとおりとすることについて、併せまして、誤字脱字等の修正につきましては教育長一任とすることについて、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長 ありがとうございます。

御異議ないようですので、前回会議録につきましてはそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に廣瀬委員と石渡委員を指名いたします。

よろしくお願いたします。

○及川教育長 それでは、続きまして次第4「教育長報告」であります。

今回につきましては、学校関係といたしまして7月20日(木)に市内小中学校の1学期の終業式を行いました。夏休みにつきましては、8月30日までの41日間ということになります。

8月31日が2学期の始業式ということでもあります。

すでに始まっておりますけれども、中学校のプールを使用する小学生の水泳教室が21日(金)から28日(金)の間で行われているということでもあります。

それから夏休みの期間中につきましては、学校の閉校日という日を今年度も設けます。8月14日(月)から17日(木)までを学校を閉じる期間といたします。結果的には前週の11日(金)が山の日になりますので、金、土、日、それから今言った月から木曜日までお休みということで、先生たちにとってはゆっくりと身体を休められる期間になるのかなと思っております。ただ、この間については施設の戸締り等ですね、そのことについては徹底して行うように、また何かあった際の連絡についてはきちんと取れるように配慮をということで、先日の校長会の中で話をしたところであります。

そのほかの行事といたしまして今後のこととなりますけれども、明日、須崎市から4年振りに子どもたちがやってまいります。長浜のYMCAの施設で宿泊を行うということでもあります。

須坂市から16名、三浦市からは28名が参加しまして合同の宿泊を行うということでもあります。そして、8月8日、9日につきましては、三浦市の子どもたちが須坂へ行くということでこちらも4年振りに行うということになります。

また、子どもに関する行事について8月4日に子どもの船ということですので既に報告はされておりますけれども、実施をするということでもあります。この行事に関しては4年振りというお話もしましたが、新型コロナの感染拡大以降初めてということで担当も初めてという場合もあるものですから、そのあたりはこれまでのことを確認しながら丁寧にしっかり対応をしていきたいと思っております。

また、昨日石渡委員には出席していただきましたけれども、2回目の教科用図書の採択検討委員会が行われました。市内の先生方からそれぞれ各教科に分かれて調査をしていただいたわけですが、その調査報告を基にした検討を行ったということでもあります。その検討委員会の中での意見につきましては、まとめまして8月8日の教育委員会臨時会で採択の報告をさせていただいて、皆様の御意見を頂きながら来年度から使う小学校の教科用図書については採択を行っていききたいと思います。

また、この教科用図書採択につきましては、すでにスケジュールの調整をさせていただいておりますけれども、事前に勉強会をしながら8月8日に向けて準備をしっかりと進めていきたいと思っておりますので、御協力をお願いしたいと思います。

今年は今申し上げた会議、特に教科書の採択年でありますので会議等多くあって、教育委員の皆さんには出ていただくことが多いですけれども、しっかりとこれからに向けて進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

教育長報告は以上です。何か御質問等ございましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。

(発言等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければ次に進みたいと思っております。

それでは、次第5「報告事項」に入りたいと思っております。

まず、(1)令和5年6月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○塚本教育総務課長 それでは令和5年6月の後援名義等の使用について御報告いたします。

資料1ページ、資料1を御覧ください。

令和5年6月に資料記載の教育総務課関係4件、学校教育課関係7件、青少年教育課関係2件の13件の申請につきまして、後援名義の使用承認をいたしました。

内容等について御不明な点等ございましたら御質問をお願いいたします。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○石毛委員 前回に引き続き後援依頼が多くなっていて、コロナ禍以前に戻ってきたのかなと思うんですけれども、5番のルアンジェ南青山チャリティーコンサートについて、こちらは東

京で行われるもので、ほかのものは教育関係や子どもたちに対するイベント関係なのかなとイメージが沸くのですが、こちらのチャリティーコンサートはどのような内容を受けて後援するに至ったのか教えていただいてよろしいでしょうか。

○増田学校教育課長　こちらのルアンジェゴスペルクワイア南青山の代表者の長谷川繫さんは、名向小学校、上原中学校の御出身でございまして、音楽活動をとおして三浦市の子どもたちに何か還元をしたいというものでありました。

そして、このチャリティーコンサートを行って、収益の一部を三浦市の中学生の文化活動に活かしてほしいというお申出があって、後援名義を申請されたという経緯でございます。8月24日にこの収益の一部を三崎中学校でお渡しいただく運びとなっております。

○及川教育長　そのほかよろしいでしょうか。なければ次に進みます。

続きまして、(2)令和5年度第2回三浦市議会定例会の状況について、報告をお願いします。

○増井教育部長　令和5年第2回三浦市議会定例会の状況について御報告いたします。

資料3ページからの、資料2を御覧ください。

令和5年第2回定例会では、市からの議案24件、報告6件について、審議及び採決等が行われました。

そのうち、教育委員会関係の案件は議案1件、報告1件でございます。

議案第33号令和5年度三浦市一般会計補正予算第3号は5月の定例会で御審議いただきました学校給食事業の補正を含むものでございます。総務経済常任委員会に付託され、審査、承認がされました。

都市民生常任委員会には、教育委員会関係の陳情2件が提出されました。

1件目、三浦半島地区教職員組合から提出された「教職員定数改善の推進および教育予算の拡充を求める2024年度政府予算についての陳情書」については、了承できるものとされ、2件目、市内の個人から提出された「三浦市教育委員会からの小学校におけるカリキュラム変更指示に関する陳情書」については、閉会中の継続審査とされました。

すべての案件は6月26日の市議会本会議において採決が行われ、承認が議決され、了承された陳情に基づき、三浦市議会議長から6月26日付け「計画的な教職員定数の改善と教育予算の拡充を求める意見書」が内閣総理大臣ほかあて提出されることとなりました。

また、同本会議において報告第7号一般社団法人みうら学・海洋教育研究所に係る決算及び事業計画についての報告が行われました。

小学校統廃合につきましては、都市民生常任委員協議会において説明をしております。

次に、今議会で行われた一般質問のうち、教育委員会が答弁いたしました7名の質問について、質問項目を御報告いたします。

1人目は日本共産党の石橋むつみ議員から、生理用品の学校トイレへの配置について、2人目は無所属の石崎遊太議員から、通学支援について、3人目は、日本共産党の小林直樹議員から、就学援助、給食費補助、海洋教育カリキュラムなどについて、4人目は、無所属の下田たけし議員から学習や不登校について、5人目は無所属の溝川幸二議員から学校統廃合について、6人目は、自由民主党の神田真弓議員から海洋教育と三崎地区の小学校再編について、7人目は、無所属の寺田一樹議員から海洋教育について質問と要望をいただきました。

答弁いたしました内容については、資料記載のとおりでございます。

なお、3名の議員からいただきました海洋教育カリキュラムについて、真珠の養殖事業につ

いてですけれども、こちらにつきましては該当の団体と協議を行っておりまして、2学期の実施に向けて調整中というところでございます。

令和5年第2回三浦市議会定例会に関する報告は以上です。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○石毛委員 石橋むつみ議員の相対的貧困家庭のことだと思ふんですけれども、三浦市に限らず全国的に相対的な貧困ということで非常に出ています、三浦市内の状況について増えているのか、そのあたりは把握されているのでしょうか。

○増田学校教育課長 従前から学校では保健室の対応で生理用品を配布するということはやっていたと認識をしております。そして、今回トイレに無償配布をするということですが、これによって件数が増えたかどうかは把握しておりません。

○増井教育部長 市内の所得については、詳細は把握しておりませんが、神奈川県内のほかの自治体に比べて三浦市の所得の水準というのは、少し低い状況には長らくあるという状況であります。中々他市に比べて所得水準が同レベルまでいっていないという状況が長く続いているということは確かかなと思います。

○石毛委員 今回の生理用品の提供ということで、御家庭若しくは子どもたちから何か反響、感想というのはございましたでしょうか。

○増田学校教育課長 今年度、設置を始めたというところでございまして、そこまで情報収集していないところであります。

○廣瀬委員 石崎議員のスクールガードの体制について、今回人数の体制が詳しく書いてあったんですけれども、この中で旭小学校が突出して多い理由について教えていただければと思います。

○増田学校教育課長 各学校それぞれスクールガードについては、学校でボランティアを募集してということがされているんですけれども、旭小学校については各ハイツの自治会が子どもの見守りということで参加をしてくださっているということで、登録の人数が非常に多くなっているというところであります。

○廣瀬委員 ハイツの中だけで、すごくたくさん登録をいただいているということでしょうか。

○増田学校教育課長 はい、そのとおりです。

○及川教育長 今、岬陽小学校の原区は行っているのでしょうか。以前、区で行っていたときは人数が多かった記憶があるのですが。

○増田学校教育課長 岬陽小学校についても区のほうで取りまとめをさせていただいているのでそこは変わらないと思いますが、登録はこの人数なのですが実際に毎朝見てくださる方は少ないということです。

○石渡委員 石崎議員の質問されている上宮田小学校に関する集団登校の状況が無くなったということだと思うんですけども、その辺りの部分で私がいたときも賛否両論であったんですけども、委員会としてはどのような姿勢をとっているのかということと、地域の実情があると思うので何とも言えないですが、現在の集団登校を行っていない学校を教えてくださいと思います。

○増田学校教育課長 現在集団登校を行っていない学校については、市内複数ございますけれどもすべて把握していないので後ほど報告させていただきたいと思います。

児童の登校の支援については課題だと感じております。学校の先生が見守るというかたちではなく、国の方針もありますけれども地域移行を進めていく案件であると思っております。いずれにしても安全の確保というところが現段階では課題であると感じております。

○及川教育長 学校の状況については次回でよろしいでしょうか。お願いします。

○石崎委員 下田議員の質問について2点あるんですけども、まずリモートを活用した学習方法というところで、リモートで授業を受けている子というのは現状まだいるのでしょうか。

○増田学校教育課長 新型コロナウイルス感染症の関係で自宅待機を余儀なくされていた時期については、学校の授業をリモートで流すかたちでの支援は行っていたところです。ただし、5月8日で新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、いわゆる濃厚接触者という部分が無くなって、あとはコロナが不安で行かれないという方についての対応はまだあります。保護者からの申出があれば、学校がリモートでの授業を行うというかたちはできると思います。ただし、今のところ行っているという報告は上がってきていないので、実際としてはやっていないのかなというところです。

○石崎委員 不登校の児童生徒について3日以上連続で休んだ場合、家庭訪問をすると書いてあるんですけども、現状どこまでそれを続けて、そのような状態の子どもが何人くらいいるのでしょうか

○増田学校教育課長 令和4年度の数値についてはまだ未公表というところで、令和3年度の数値になりますけれども、不登校児童数が17名、生徒数が47名となっています。

また、欠席が3日続けば家庭訪問というところで、初期対応しているところではありますけれども、それだけではなくて個別にしっかりと学校と家庭が連絡を取って、その子が孤立しな

いように、そして学校に帰るだけではないんですけれども、その子がきちんと目標をもって生活を出来るような支援を個別に考えて支援をしています。

○石毛委員 石崎議員の集団登校の件について、上宮田小学校の経過についての回答が人間関係での課題が予想されていたと記載されておりますが、これは一部なのか全体的に上宮田小学校に何か課題があるのでしょうか。

○増田学校教育課長 学校規模が縮小していく中で、高学年児童が1人、2人というような班が発生することが予想されていたということと、本校の児童の状況が普段から集団的な活動の中でも前に立つのがあまり得意ではないお子さんがたまたまその班の高学年の1人、2人だったりすると自動的に班長、副班長になってしまうということが実際に起きていたということがあります。

○増井教育部長 そういった実情につきましては、上宮田小学校特有のことではなく、すべての小学校に当てはまります。

○石毛委員 ということは少子化というか、児童数が少ないということが、集団登校に対して弊害をもたらしてしまったという風に受け止めてよろしいでしょうか。

○増井教育部長 少子化につきましても大きな要因であると考えております。もう一つは昔のように保護者が子どもに強制をして、参加させるというようなことが、少しいろいろな考え方があって、少なくなっているというのも理由の一つではあるかと予想しているところです。

○廣瀬委員 先程、真珠の授業について2学期に調整をしているということでしたが、具体的にどのような調整で進んでいるのでしょうか。

○増井教育部長 申し入れを文章で行いまして、協議をしていただいております。その中でこちらとしての実施案を提示しまして、調整をしているところになります。今のところ日にちについては調整中でありまして、お話しできませんけれども、こちらとしては前向きにお願いをしておりまして、予想としては受け入れていただいて、実施の運びになるのかなというように考えております。

○石渡委員 小林議員の発言の中に海業を取り入れたカリキュラムの見直しの質問について、答弁をされていますけれども、今現在、年度が始まって学校も教育活動をされていると思えますが、状況的に市内の小中学校でどの程度反映されているのか分かれば教えていただきたいです。

○増田学校教育課長 現在分かるところでありますと、海業の視点を取り入れた活動ということで市内のいくつかの小学校が年間計画として海業を取り入れた海洋教育を実施するという報告を受けています。また、夏休み中に海洋教育の推進委員会が行われまして、その中で実際に

1学期に取り組んだものについて若しくは、これから計画しているものについてより良いかたちを模索する話し合いをするということで、今はまだその報告を待っているところです。

○石渡委員　今までそういう意味では海洋教育推進というかたちで、海洋教室などさまざまな捉えがされていたんですけども、その辺りと今後の海業のカリキュラムとの関係というのはいかなのでしょうか。

○増田学校教育課長　今までも海洋教育の中でさまざまな海にかかわる人との関わりという部分での授業実践は行われてまいりました。

ただ、例えば生き物にフォーカスされた授業もあったかと思うんですけども、海業の視点を取り入れるというところで、生き物を取り巻く人の生業の部分まで少し視点を広げて授業構築を試みたらどうか、というかたちで広げてまいりますので、今までの海洋教育の実践をベースとして少し視点を広げていくというかたちで行われていきます。

○石渡委員　特に分けているとかではなくて、海洋教育とそのかかわりの中でということなのでしょう。今までどおり行っていたようなこともありうるということでしょうか。

○増田学校教育課長　海洋教育のコンテンツの提供については今までどおり行っていきたいと考えております。

○及川教育長　海洋教育という取組の中に海業という視点を新たに取り入れる、加えるということなので、これまでの海洋教育の取組がより多彩になる、発展的になるということを期待しているという風に考えてもらうといいかなと思います。

○石毛委員　スクールガードの件で保険についての質問について、速やかに報告をしていただきたいという答え方をしていますが、スクールガードをされている方々には、保険があってこのような補償があるという告知はされているのでしょうか。

○増田学校教育課長　その部分についてきちんと周知されていない可能性があることを認識してこの発言になっておりますので、各校からスクールガードの皆さんにお伝えしていただけるようにしなければならないというところであります。

○石毛委員　万が一があってはならないんですけども、もし、そういうことがあった場合に知らなかったとか後々問題にならないような対応をお願いしたいと思います。

○及川教育長　そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。続きまして、(3)令和4年度学校給食事業（令和4年度決算）について、報告をお願いします

○武田学校給食課長　それでは学校給食課より、令和4年度学校給食事業（令和4年度決算）につきまして報告させていただきます。

学校給食事業につきましては、施設の維持管理費や人件費等、公費でまかなう部分と、保護者が負担する食材購入費の部分に大別されます。

食材購入費につきましては、三浦市学校給食会が所管し、給食事業を実施しております。

三浦市学校給食会は、市内小中学校の校長、給食担当、PTA会長、教育部長、学校教育課長、学校給食課長、栄養士にて構成されており、学校給食課が事務局を担当しています。

三浦市学校給食会では、7月13日に令和5年度総会を開催し、令和4年度決算につきまして承認されましたので、その内容を報告します。

資料3、16ページを御覧ください。

令和4年度決算の総収入は、1億2,785万9,078円、総支出が1億2,784万4,208円、差し引き1万4,870円を令和5年度へ繰り越させていただきました。

収入につきましては、令和3年度からの繰り越しが85万976円、各学校からの給食費が5,725万4,803円、調理場試食代、利子等が240万2,299円、令和4年10月から令和5年3月までの児童生徒の給食費全額、物価高騰による給食費不足額等の三浦市からの補助金6,735万1,000円でありました。

支出につきましては、各項目の食材の購入及び三浦市からの補助金の返還分等についてとなっております。

なお、令和4年度決算につきましては、6月29、30日に校長、PTA会長により名向小学校で三崎調理場分、上宮田小学校で南下浦調理場分の監査を実施しております。

以上、学校給食事業（令和4年度決算）について報告をさせていただきました。

○及川教育長　報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○石毛委員　令和4年度につきましては、補助金が返還分を差し引くと6,200万円ほどで、ほぼ半分が補助金ということは分かるんですけども、今年度の状況はどのようになっているのか確認したいです。

○武田学校給食課長　令和5年度につきましては、給食費を改訂いたしました。その値上げをした部分につきましては、令和5年度当初予算に計上しております。そして、6月の補正予算の中で9月から来年の3月までの間、保護者負担の給食費の半額を補助するという予算を計上いたしました。そのようなかたちで補助金を支出する予定であります。

○石毛委員　今年度はそういった半額補助金というように計上されますが、来年度以降の補助金は、結局、国等からの補助金頼みということになってしまいますが、その辺りの見通しはいかがでしょうか。

○増井教育部長 令和4年度と5年度の補助金については、物価高騰による子育て世帯の経済的疲弊に対する市としての経済的な支援という側面から、財政担当が学校給食課と相談の上、支出をすると決定したものでございます。

給食の食材費につきましては、教育委員会としては基本的には保護者が負担していただくものという考えでございますので、来年度について教育委員会として何らかの補助をするべきであるとか、そういったことについての考えは今のところ持っていないというところです。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。

なければ続きまして、(4)学校教育ビジョンについて、報告をお願いいたします。

○塚本教育総務課長 それでは三浦市学校教育ビジョンについて御報告いたします。

南下浦小学校、剣崎小学校の統廃合個別計画の策定については、6月定例会でお諮りし、承認いただいたところですが、計画に基づく統廃合準備委員会の第1回目となる会議体を7月25日に南下浦小学校で開催いたしました。

議題については、計画に定めている「学校名、校章、校歌」について、準備委員会に御意見を聞くということにつきましては、剣崎の名前が無くなる寂しさがあるが、将来、南下浦地区で一つの小学校になった場合に、南下浦小学校の名称を継続していくことの意味で、今回の統合においても、南下浦小学校でよいのでは、といった意見をいただいております。

校章、校歌についても、将来のことを考え検討する必要がある。剣崎小学校PTAに再度意見を確認した上で、準備委員会で報告されたい旨の御意見があり、また、過去の新三崎中学校開校準備の時はどうであったかも確認したい意見がありました。事務局で整理した上で、次回の準備委員会で意見をいただく運びとなっております。準備委員会については、決定機関ではありませんので、御意見をいただき、教育委員会へお諮りし、決定するという流れになります。

もう一つの議題として、準備委員会に教育課程、交流などについての検討する5つの部会を設置することとなっております。この充て職の案につきまして御意見をいただきましたが、部会運営についての確認に留まり、特段の御意見はございませんでした。

今後は、この部会によって統廃合の準備検討を進めていくこととなります。決定事項や学校名、校章、校歌への意見も含め、随時、定例教育委員会で御報告していく予定です。

学校教育ビジョンに関する報告は以上となります。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○及川教育長 今回の剣崎小学校と南下浦小学校の統合については、ビジョンの推進ということからすると段階的な推進の途中になりますので、先のことも考えながら決めていくのがいいのかなと思います。

○石崎委員 学校は予定どおり令和7年4月から児童が全員異動するということは分かるんですけども、交通機関のバスや定期的利用の子どもたちの練習的なものはなく、いきなり本番で始まるというかたちでよろしいでしょうか。

○塚本教育総務課長 事前に交通手段、バス利用については学校とも協議調整しながらどのようにアナウンスしていくかということはこれから決めていきたいと思っています。

○及川教育長 その辺りは一番安全にもかかわる部分であるので、慎重に丁寧という風に思います。

○石渡委員 今の問題にかかわって今後、統合に向けて個別に各委員会を設けていくということなんでしょうけれども、その推移として教育委員会として今後のビジョンをもっていられたら、簡単でいいので流れを教えてくださいたいです。

○塚本教育総務課長 まず、今回第1回目の会議を持ちました準備委員会の下部組織に5つの部会が入ります。教育課程を協議する部会、事前交流等を検討する部会、通学を含めた安全対策をする部会、PTAの新組織を立ち上げることとなりますのでPTAの部会、閉校準備に向けた取組から閉校式を運営する閉校部会のこの5つをもって協議、検討を進めていきたいと考えています。

また、各々で行うのではなく、検討議論したこと、そこで出た結果や意見につきましては、準備委員会のほうで共有しながら、全体の総括、進行管理的なことを行っていく予定であります。

○石渡委員 それはケースバイケースにもよると思うんですけども、例えば教育課程はかなり学校の負担が大きいと思いますし、また安全面に対しては、学校と教育委員会が詰めていけないと思います。令和7年4月からだと令和6年12月には、出来ていないと統合は厳しいと思うので、そのところを随時、状況をお知らせしていただきたいと思います。

○塚本教育総務課長 今回、表立っての準備委員会と5つの部会を設置したということで御報告いたしましたけれども、すでに交流の授業等については学年ごとで行われていますし、PTAについても8月に両校のPTAの意見交換会を行う予定ということで話は聞いております。また、事前に交流バレーボール大会というのも実施済と聞いておりますので、現場レベルでは動き出しているような状況であります。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。なければ報告については以上で終了します。

続きまして次第6「その他」に入りたいと思います。事務局から何かありますでしょうか。

(特になし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。

教育委員の皆様から何かございますか。

○石毛委員 海の日にうらりでイベントが行われていましたけれど、子どもたちの総合学習で海のいろいろな研究の発表を以前、うらりで行ったと思うんですけども、海の日ですし、海業というところでそれを来られた方に展示するということはできないのでしょうか。三浦市内の子どもたちがこのような活動をしているというPRにもなると思います。

○増井教育部長 今回の海業フェスタという名前で行ったんですけども、その中では学校が関連している海洋教育や写真コンテストについての展示はないものでした。ただ、関東学院大学のゼミが撮影した市内の写真の展示のようなものはあったと思います。今のお話を伺いまして、いろいろな発表の機会としては有効なものではないかと想像しますので、海業フェスタは市の部署では市長室が関わっていたと思いますので、少し事情を聞いてみまして調整をしたいと思います。

○石毛委員 もし、それができれば子どもたちの励みにもなると思いますので、御検討をお願いします。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。ないようでしたら、以上で「その他」を終了します。

それでは、以上をもちまして、令和5年7月三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

---

◇ 午後3時53分 閉会 ◇

---